

令和5年度 社会福祉法人くすの木福祉事業会 事業報告

評議員会・理事会開催状況

開催年月日	参加者数（監事含）/議案数		審議内容
	評議員会	理事会	
令和5年5月24日		7名 5件	・令和4年度事業報告について ・令和4年度社会福祉事業区分会計決算の認定について ・職員給与規程の一部改正について ・理事候補者及び監事候補者の選任について ・定時評議員会の開催について
令和5年6月9日	7名 2件		・理事及び監事の選任について ・令和4年度社会福祉事業区分会計決算の承認について
		8名 2件	・理事長および常務理事の選定について
令和5年11月8日		8名 5件	・職員紹介採用制度規程の制定について ・職員給与規程の一部改正について ・パートタイマー就業規則の一部改正について ・令和5年度社会福祉事業区分会計補正予算について ・評議員選任・解任委員の選任について
令和6年3月15日		8名 6件	・職員給与規程の一部改正について ・パートタイマー就業規則の一部改正について ・役員賠償責任保険契約の更改について ・令和6年度社会福祉法人くすの木福祉事業会事業計画について ・令和6年度社会福祉事業区分会計予算について ・令和5年度社会福祉事業区分会計補正予算について

その他の実施状況

●職員研修

- ・虐待防止・身体拘束適正化研修

義務化された虐待防止・身体拘束適正化内容把握と取り組みについて：田原授産所 鎌田博幸氏
アンガーマネジメント・アンコンシャスバイアスセミナー：田原授産所 鎌田博幸氏

A B C分析：たくと大府 林大輔氏

- ・A E D及び心肺蘇生法講習：日赤愛知支部 村崎正明指導員

- ・感染症対策研修会

防護服の着用方法：日赤愛知支部 村崎正明指導員

- ・障害児等療育支援事業

適切な摂食方法（介助方法や食事形態）のチェックと指導：あゆみ学園 理学療法士 言語聴覚士

●諸規程検討

- ・法人諸規程検討及び労務相談（月1回開催 大山社会保険労務士来寮）

●感染症対策委員会 随時実施

●法人災害対策委員会

- ・災害対策本部及び福祉避難所設置訓練の実施 蒲郡市と連携し福祉避難所受入訓練実施

●地域公益取組推進委員会

- ・地域座談会への参加
- ・児童クラブへのおやつ提供の実施

●法人職員採用試験実施（6回）

令和5年度 障害者支援施設つつじ寮事業報告

1. 職員構成

総数 50名 ()は非常勤再掲

施設長 1	事務員 3(1)	サビ管 1	生活支援員 34(15)
看護師 2(1)	栄養士 1	調理員 7(7)	嘱託医 1(1)

2. 利用者の状況

定員 50名

●療育手帳判定

	A判定	B判定	C判定	計
男	23	1	0	24
女	19	4	0	23
計	42	5	0	47

●障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	3	11	10	24
女	0	0	0	4	5	14	23
計	0	0	0	7	16	24	47

●在籍および入退所状況

施設入所者 令和6年3月31日現在47名

入所者 1名

3. 支援状況

感染症に注意しながら行事や外出の再開に取り組む1年であった。

具体的な支援については、昨年度に引き続き、高齢・重度化に対応するべく、利用者1.7人に対して1人の職員を配置して、マンパワーによる利用者支援の充実を図ってきた。また、この1年は人員不足の中で業務の効率化、支援の集中化が課題となった。日中活動支援については、個々人の能力や適性、年齢に合わせ、生産活動を行う「下請け作業班」と、高齢・重度の方に対して身体機能維持活動を行う「ひまわり班」の2班で

活動を実施した。

それぞれの利用者の思い（ニーズ）に寄り添い、本人が楽しみながら、生きがいのある生活が送れるよう個別支援計画を立て、目標が達成できるように以下の支援を行った。

（１）生活支援

生活面では、食事・排泄・入浴等必要不可欠な支援について個別の支援ガイドを作成し、利用者本人の状態に合わせた支援を行った。

（２）日中活動支援

<下請け作業班> 班員 21 名（男性 13 名・女性 8 名）

支援状況及び報告

今年度も継続して新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、わくわくワーク大塚の仕事の受注は減少傾向にある。また、Fバーナーの受注も大きな変化はなく、低受注のままだった。しかし、年度末には利用者へのボーナス支給が行えた。

作業に関しては、個々の利用者の能力に合わせて作業工程を工夫し、どの利用者も作業に参加できるように努めた。

利用者も作業を頑張ったことで、給料を受け取れることを楽しみにしている。そのため、給料日は作業に実が入る利用者が多い。また、班員でそろって外出し、飲食を楽しむ機会を作るなど、働く意欲の向上に努めた。

作業が落ち着いている日には、利用者と一緒に施設の周りやドライブ先で散歩、ひまわり班と一緒に運動を行い、体力の維持に努めた。

<ひまわり班> 班員 26 名（男性 11 名 女性 15 名）

支援状況及び報告

ひまわり班は、基本的にアクティブ、ケアの２グループに分け、円滑な活動ができるようにしているが、更に利用者一人ひとりのニーズに寄り添い、適性に沿った支援が行えるようグループの垣根を越えて柔軟に活動を進めた。具体的には、歩行速度に合わせた散歩のグループ分けや、利用者に合ったコースを選ぶこと、ドライブ散歩、寮内歩行、運動場歩行などを行った。

今年度は、その日の活動を仕切る職員のリーダーを２名決めて、特定職員だけで活動を進めることによる内容の偏りを防ぎ、全班員が連携して取り組んだ。

活動については、今年度は全体的に体力維持を目標に散歩を中心に実施し、年間を通して体を動かすことができた。また、療育支援事業として、理学療法士からアドバイスを受け、ストレッチや運動を活動の中に取り入れた。

(3) 自立支援

1) 生活支援・・・金銭感覚取得、身の自立

地元の美容院に出かけ、金銭使用に慣れる、外出中のマナーを学ぶ等、各自のスキルアップへの取組みを実施した。

買い物や洗濯など個々に合わせた個別支援計画を作成し、生活する上で自立に必要な支援を行った。

2) 地域生活、就労に向けた支援…今年度は、2名がグループホームの見学を行った。

(4) 余暇活動

生活に潤いを持たせ、ストレスの解消を図るため休日や平日の自由時間を有意義に過ごせるようにした。具体例として夕食後の余暇活動で、塗り絵、カラオケ、DVD鑑賞など充実した活動を毎日実施した。

また、月1回土曜日の午前中に講師を招いた生け花教室、休日の午前に「コーヒータム」を実施した。

(5) TAP 活動

セラピー活動（音楽療法・読み聞かせ）、アート活動（絵画教室・木工教室）を毎月実施した。（読み聞かせ・木工教室については隔月実施）絵画教室は講師の丁寧な指導により1つの作品に時間をかけて取り組む利用者や、個々の特性を生かした絵を描き完成させている。完成した作品は絵画展等に出品している。

職員の励ましを受けて、新たに創作活動に取り組んだ結果、展覧会で表彰された利用者もあり、ますますやりがいを持って挑戦をしている。

4. 健康管理

年2回保健・給食委員会を開き、それぞれの課題解決や充実を図ると共に健康維持に努めた。新型コロナウイルス感染症の対策として感染症対策委員会を計2回開催し、感染防止対策を行った。

(1) 定期健康診断(5/15、10/16)

聴打診、血圧測定、尿検査、血液検査、検便、胸部レントゲン（春）、腹囲測定（春）、心電図（秋）、大腸がん検査（秋）

(2) 乳ガン検診（7・9月） 子宮ガン検診（11月）

(3) 通院状況

定期通院については、内科、歯科、眼科、外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、精神科、婦人科の通院を行った。また、歯科については蒲郡市障がい者歯

科診療所の通院を行い、治療の難しい利用者が利用した。また季節的に、水虫、感冒、花粉症による通院を行った。

(4) 入院状況（延人数）

15 日未満	内科 1 名、外科 3 名
15 日以上 1 ヶ月未満	内科 2 名、整形外科 1 名

(5) 寮内処置状況

(水 虫 対 策) 皮膚科に通院し、処方された外用薬を塗る治療を行った。また常に足を清潔にするように支援を行った。

(怪我の処置) 擦り傷、切り傷、軽い外傷。

(感染症対策) 日ごろの予防として、手洗い、うがい他、体力作りに心がけた。

毎日の体温測定（1 日 2 回測定）を行い、早期発見に努めた。薬剤を使用した寮内消毒及び清掃を念入りに行った。

インフルエンザワクチン接種については、10 月実施。インフルエンザ罹患者はいなかった。

新型コロナウイルスワクチン接種は 6 月に 6 回目、10 月に 7 回目を実施した。12 月、家庭療育帰省日の前日に利用者 1 名が新型コロナウイルスに罹患、クラスターとなり、ほとんどの利用者、支援員が罹患したが、幸い大事には至らず収束した。

5. 食 事

必要な栄養素・栄養バランスの摂れた献立を作成し、旬の食材を多く使用した食事を提供した。嗜好調査や、毎月の集会でリクエストの聞き取りを行い、献立に取り入れた。毎週木曜日には主菜を 2 種類用意する選択メニューを実施し、選択する自由を尊重した。また季節の行事に合わせた食事を提供し、食事をより楽しんでもらえるように努めた。

健康管理上の配慮が必要な方は、栄養士、調理員、看護師、支援員が協議して、以下の様に対応した。

- ・肥満者・・・・・・・・・・肥満食、極肥満食
- ・低体重者・・・・・・・・・・主菜、副菜 1. 5 倍食
- ・咀嚼能力の低い者・・・・きざみ食
- ・嚥下能力の低い者・・・・とろみ付け、ミキサー食
- ・血圧の高い者・・・・・・塩分を控える（汁物半量、漬物なし等）

6. 行 事

行事、外出の再開に努めた一年。

5 月	春期家庭療育 中止
5 月 1 5 日	春の定期健診
6 月 2 3 日	ふれあい旅行（日帰り）
8 月 1 1 日	夏期家庭療育
8 月 1 8 日	夏まつり 2 0 2 3 in つつじ寮
9 月 1 5 日	あしあとの会
9 月 2 2 日	ふれあい旅行（日帰り）
1 0 月 1 6 日	秋の定期健診
1 1 月 1 1 日	くすの木福祉まつり
1 2 月 1 5 日	もちつき会
1 2 月 2 0 日	クリスマス会・蒲郡市歳末慰問
1 2 月 2 9 日	冬期家庭療育
2 月 5 日	節分豆まき

7. 職員研修

利用者に対し心理的、身体的、社会的自立と安定した日常生活を援助するためには、現在かかえる利用者の高齢化や重度化等、サービスを提供する上で、必要な知識及び技術を専門的に学習する必要がある。そのため年間を通し以下のように行った。

（1）施設内研修

療育支援事業（理学療法士・言語聴覚士による指導）、救急救命講習(AED)、障害者虐待防止研修（アンガーマネジメント、アンコンシャスバイアス、ABC 分析）、感染症対策研修（コロナウイルス感染症）を行う。

（2）施設外研修（愛知県社会福祉協議会、知的障害者福祉協会等主催研修）

初任者、中堅職員研修で職員のスキルアップを図り、資質、知識向上に繋がった。
また、サビ管研修、全国大会、他施設視察などを実施した。

8. 共同生活援助事業のバックアップ

共同生活援助事業所ひめはる、かるみあ・はちまんをバックアップした。各事業所と連携し、各ホームからの要請に応じ、緊急時にはその対応を行った。また入居者が

安心して地域で暮らしていけるよう最大限の協力をした。

9. その他

- (1) レクリエーション ・新型コロナウイルス感染予防対策を施し、グループごとに随時実施。外食を兼ねた買い物、公園散策、カラオケ、演劇鑑賞、いちご狩りを実施した。
- (2) 防災訓練 ・毎月1回実施
 ・日中のみならず、職員の少ない夜間を想定し、非常時の対応ができる様に訓練した。10月に法人災害対策本部設置訓練・福祉避難所設置訓練を行った。
- (3) 環境整備 ・毎月1回実施
 ・寮内整備及び美化に努めた。
- (4) 地域活動 ・ふるさと博推進委員会(地元活動団体)の学習資源整備(年4回)、トイレ清掃管理(当番月:年3回)に取り組んだ。
- (5) 理髪 ・4月、6月、8月、10月、12月、2月に実施。
- (6) 面会日・保護者会 ・保護者会は基本的に毎月実施した。昼食、面会を再開した。
- (7) ボランティアの
 受入れ ・繕い物作業等に温かいご支援、ご協力を頂いた。
- (8) 苦情解決事業及び
 虐待防止 ・社会福祉法の規定に基づき、福祉サービスに関する苦情相談窓口等について啓発すると共に利用者一人ひとりの面談に努めた。(令和5年度件数 0件)
 ・虐待防止については年1回、講師を招き研修を行った。また月1回虐待防止委員会を開催した。
 (令和5年度通報件数 5件)
- (9) 福祉サービス共通評価基準自己点検 ・令和2年12月実施。
- (10) 短期入所(宿泊を伴うショートステイ)事業
 ・令和5年度利用実績 延べ 82名、 367日
- (11) 日中一時支援(日帰りショートステイ)事業
 ・令和5年度利用実績 延べ 80名、 364日
- (12) 生活介護(通所)
 ・令和5年度利用実績 延べ 12名、 52日

令和5年度 サポートくすの木 事業報告

1. 職員構成 (R 6. 3. 31)

職 種	員数	常勤	非常勤 専従	常 勤 換 算	備 考	保 有 資 格
管 理 者	1	1		—		公認心理師、准看護師、社会福祉士、 介護福祉士、社会福祉主事、強度行動 障害支援者養成基礎研修修了
サービス管理責任者	1	1		—		社会福祉主事、サービス管理責任者 研修修了、強度行動障害支援者養成 実践研修修了
生活支援員	17	6	11	13.1		准看護師、社会福祉士、介護福祉士
看 護 師	1		1	0.7	兼務	社会福祉主事、強度行動障害支援者 養成基礎研修修了
医 師	(1)		(1)		嘱 託	・医師
事 務 員	1	1				
調 理 員					外部委託	

2. 利用者の状況

(1)障害支援区分状況 (R 6. 3. 31現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男 性	0	0	4	11	17	4	36
女 性	0	0	2	8	2	3	15

(2)月別 利用契約状況 (R 5年度月初～)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市町村												
蒲 郡 市	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
豊 川 市	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
豊 橋 市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51

(3)月別 利用者数状況 (定員55名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用数・率												
利用者数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	53
利用率 (%) (対 利用者数)	92.2	92.0	92.5	92.2	89.0	92.3	92.8	90.8	91.3	90.5	91.7	90.9
一日あたり 平均利用人数	47.0	46.9	47.18	47.0	45.4	47.1	47.3	46.3	46.6	46.1	46.8	48.2

3. 全体を通して

今年度の利用実績は、一日平均46.8人、対定員数の利用率91.5%。

令和2年2月頃から継続した新型コロナウイルス感染症（感染分類2類）が、令和5年5月に感染分類5類に変わり、手洗いやアルコール消毒、マスク着用、活動室内・公用車等の消毒・換気の徹底を徐々に緩和した。また、これまで慎重であった法人行事・施設行事も従来に戻す年度となり、余暇支援の充実を図る事が出来た。

生産活動においては、委託作業・自主製品共に上向きの傾向となった。

4. 生産活動

委託部門においては、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わり作業量は増えた。今年度より新たにK社が加わり4社の下請けとなる。A社は1年を通して安定した作業量であり、H社においては、新しい作業が加わり忙しさが増えた。M社においては3種類の作業が終了となったが既存の作業量が増え、今まで関われなかった利用者に作業の提供が出来る様になった。K社は車部品関連の企業である。

全体としての売り上げは前年度より増え、利用者・職員ともに明るい雰囲気のもと作業に取り組めた。

作業以外で運動の希望がある利用者については、元気班の協力を得て実施している。

木工部門においては、新型コロナウイルス感染症の2類から5類に移行したことで、自粛傾向であったバザーやイベントがコロナ前の様に開催される様になった。また、収益の8割が注文及び受注で、確実な収入として結果が出た。利用者支援においては引き続き高齢化や体力、集中力が落ちてきていることを踏まえ「作業精度の維持」を掲げ、繰り返しの作業取組や器具を用いた運動、歩行運動に取り組んだ。

菓子部門においては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、イベントや行事が開催される様になり、お菓子を作る機会や販売に出掛ける機会が増えた。利用者のスキルアップを図るため、事業所内での昼食デザートの受注製造や季節の行事に合わせた商品作りは継続した。利用者支援については、スキルアップに取り組む時間を設け、利用者が苦手とする作業に職員が個々に向き合い、回数を重ねる事で習得している。

地域公益の取組として、地域児童クラブへのおやつ提供も行った。

5. 生活介護活動（元気班）

元気班所属の利用者を中心に、運動のニーズがある他部署利用者を受け入れ、ウォーキングマシーン等の器具を用いての運動や食堂歩行運動、外散歩を実施した。元気班以外の利用者は午前4人、午後9人を受け入れ、個別支援計画に基づくと共に、タイムスケジュール化をして器具を用いた運動をスムーズに提供した。利用者の運動に対するニーズ、健康の維持・増進、ストレスの緩和を含めた、生活介護事業所としての身体面・精神面における受け皿の役割を担った。特別支援学校や地元の学校等、外部からの実習・体験依頼に対しては、元気班が中心となり個別に受け入れをした。

6. 生活・余暇支援

今年度も新型コロナウイルス感染症対策に留意するも、感染分類が2類から5類に移行した事で生活支援・余暇支援の規制緩和を行い、日帰り親子旅行や法人行事等も再開し、事業所内における選択レクリエーション、クリスマス会、節分行事も問題なく全てが予定通り実施された。

7. 保健状況

月	実 施 内 容
4	嘱託医医療相談 18名 救急用品・常備薬の整備
5	健康診断 利用者 (胸部X-P・採血・検尿・聴打診・BP測定・腹囲測定) 職員 (胸部X-P・採血・検尿・聴打診・BP測定・腹囲測定・体重・身長 聴力視力・心電図) 嘱託医医療相談 16名
6	嘱託医医療相談 18名
7	嘱託医医療相談 16名
8	嘱託医医療相談 18名 救急法講習会 (CPR/AED、気道異物除去法、感染症研修) 職員7名
9	嘱託医医療相談 17名
10	嘱託医医療相談 17名 障害者歯科検診 健康診断：利用者 (聴打診、検尿、血圧測定、体重、身長)
11	インフルエンザ予防接種(利用者：43名 職員：10名)
12	嘱託医医療相談 18名 救急法講習会 (CPR/AED、気道異物除去法) 職員6名
1	嘱託医医療相談 18名
2	嘱託医医療相談 16名
3	嘱託医医療相談 16名

8. 環境整備

毎月1回実施

日常の掃除では行き届かない部分や掃除しきれない部分を中心に実施し、施設内の美化に努めた。

新型コロナウイルス感染予防のため、毎日所内（公用車含む）消毒を実施した。

9. 日中一時支援

令和5年度利用実績 契約者数 0名

10. 苦情解決

社会福祉法第82条の規定及び局長通知「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」により、福祉サービスに関する苦情解決事業を実施した。（令和5年度件数 2件）

11. 虐待防止

虐待防止・身体拘束適正化研修については、法人内研修等で全員が参加している。また、各個人が3カ月に1回の自己点検表を提出し、それぞれが日々の支援の振り返りをする事で、意識の維持・向上を図っている。点検表は集計を取り、虐待防止・身体拘束適正化委員会（メンバー：役職者・各課1～2名 開催：3か月1回）で内容を検討後、虐待防止・身体拘束適正化会議（年4回）で報告し結果を全職員に配布している。（令和5年度通報件数 0件）

12. 職員研修

- ・職員の資質及び専門性の向上、意識改革を図るため、下記の研修会（オンライン研修）や法人内研修に参加した。
- ・障害者虐待防止身体拘束化研修 ・権利擁護セミナー ・管理者研修
- ・苦情解決制度受付担当者研修 ・強度行動障害支援者養成者（基礎研修）
- ・療育研修会（インシデントプロセス法） ・メンタルヘルス研修 ・防犯研修
- ・法人研修～虐待防止・身体拘束適正化研修（ABC分析、アンガーマネジメント&アンコンシャスバイアス他）、AED講習（口腔内異物除去、感染症対策）、障害児者療育支援事業研修
- ・パート職員研修（障害基礎講座、自閉症基礎講座&強度行動障害の理解と支援、虐待防止・身体拘束適正化）

13. 防災訓練

令和5年度実施回数 6回

実施内容 地震及び火災による護身・避難並びに通報訓練 津波警報による避難訓練 消火器訓練等。

法人での合同防災訓練については、広域の大規模災害（地震）発生を想定しての姉妹施設間の伝達訓練、福祉避難所立ち上げ訓練に参加している。

14. 行事実績 別紙1の通り

15. 生産活動実績 別紙2の通り

16. その他

令和6年石川県能登半島地震	介護職員応援派遣	1月15日～20日	1名派遣
令和6年石川県能登半島地震	愛知DCAT派遣	2月11日～15日	1名派遣

(別紙1) 令和5年度 行事实施報告

月	日	内 容
4	4	花見(木工10名・蒲郡 中央公園)
	6	花見(かふりえ4名・蒲郡 西浦公園)
	12	花見(委託課7名・蒲郡 竹島)
	13	花見(委託課9名・蒲郡 とよおか湖公園)
	19	花見(元気班7名・蒲郡 竹島)
	20	花見(委託課10名・岡崎 ロングドライブ)
5	22	定期健診(利用者・職員)
6	5	アピタ蒲郡福祉の店 買い物外出
	7	(元気・木工・かふりえ16名)
	30	法人合同防災訓練
	30	賞与支給日 選択レクリエーション(元気班8名・碧南安城方面)
7	7	選択レクリエーション (委託課10名・イオンモール豊川・ラグーナ蒲郡)
	14	選択レクリエーション (木工課10名・陸上自衛隊豊川駐屯地見学・買物)
	14	選択レクリエーション (かふりえ5名・イオンモール豊川 買い物)
	18	選択レクリエーション (委託課8名・イオンモール豊川・ラグーナ蒲郡)
	26	選択レクリエーション (委託課9名・イオンモール豊川・ラグーナ蒲郡)
8	5	サポートくすの木夏まつり
	13	利用者夏期休暇(～15日)
9	29	日帰り親子旅行(利用者38名 保護者19名 静岡方面)
10	7	法人3施設合同レクリエーション(豊川市御津町体育館)
	12	豊川市障害者歯科健診
	20	法人防災訓練
	23	定期健診(利用者)
11	2	イオン豊橋南店福祉の店 買い物外出(利用者26名)
	11	第30回地域交流くすの木福祉まつり
	14	インフルエンザ予防接種(利用者43名)
12	15	賞与支給日
	21	クリスマス慰問(イオン蒲郡店・㈱A I H O・光田屋㈱)
	23	クリスマス会
	29	利用者冬期休暇(～1/3)
2	2	節分・豆まき
3	29	賞与支給日

毎 月	工賃支給 嘱託医来診（医療相談） 環境整備 防災訓練（5 月・6 月・9 月・10 月・11 月・R6. 2 月） 東海理化販売（第 4 火曜日）・蒲郡大塚児童館販売（第 3 木曜日） 豊川市役所販売（第 2 週目水曜日）・蒲郡市役所販売（常設） ※隔月 地域（蒲郡）貢献（おやつ提供・大塚児童館児童クラブ・大塚小学校児童クラブ）
-----	---

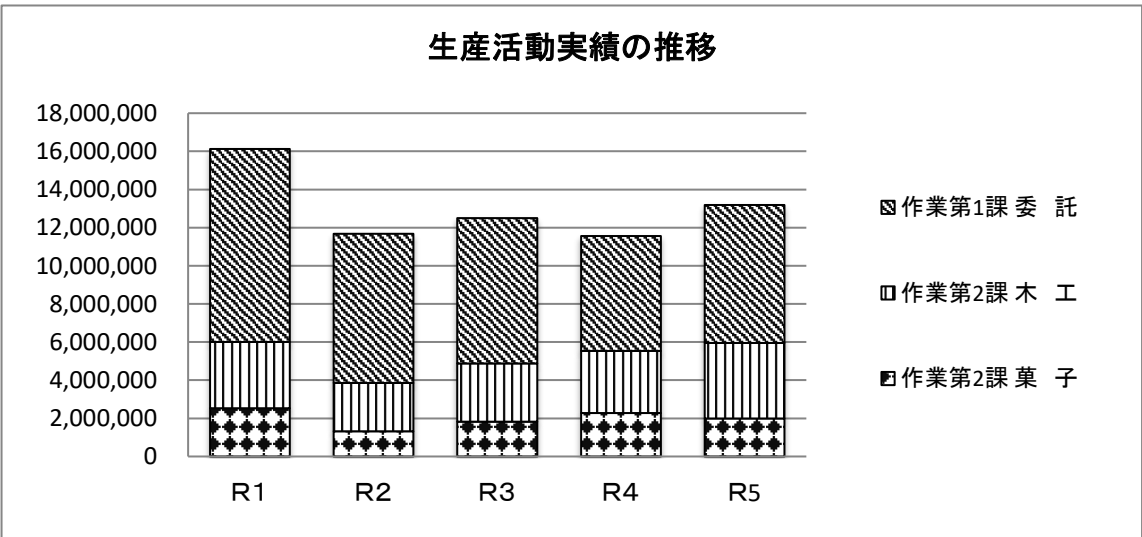
(別紙2) 令和5年度 生産活動実績

(1) 年間課別実績

月	作業第1課	作業第2課		その他	計	経 費	純利益	工 賃
	委 託	木 工	菓 子					
4	0	220,640	104,010		324,650	376,990	-52,340	632,863
5	552,118	228,480	219,100		999,698	274,354	725,344	629,746
6	499,368	132,140	103,080		734,588	392,777	341,811	1,260,909
7	568,376	249,830	114,470		932,676	202,566	730,110	630,339
8	614,967	317,760	194,610		1,127,337	386,397	740,940	629,935
9	571,120	512,220	117,429		1,200,769	426,253	774,516	630,615
10	558,242	520,455	149,710		1,228,407	367,145	861,262	629,892
11	669,576	182,385	123,350		975,311	408,669	566,642	630,081
12	543,794	503,880	342,400		1,390,074	370,265	1,019,809	1,475,258
1	651,817	348,510	133,130		1,133,457	384,121	749,336	529,938
2	628,929	274,770	163,750		1,067,449	287,785	779,664	529,826
3	686,963	296,940	168,990		1,152,893	405,040	747,853	800,985
決算見込	688,086	177,600	56100		921,786	722,876	198,910	0
合 計	7,233,356	3,965,610	1,990,129	0	13,189,095	5,005,238	8,183,857	9,010,387
月平均	602,780	330,468	165,844	0	1,099,091	417,103	681,988	750,866

(2) 年度別実績

(年度)	作業第1課	作業第2課		その他	計	工賃総額	工賃平均 (一人/年)	工賃平均 (一人/月)
	委 託	木 工	菓 子					
R1	10,126,473	3,475,784	2,528,274	0	16,130,531	10,904,400	201,933	16,828
R2	7,821,184	2,530,804	1,324,135	0	11,676,123	10,005,965	196,195	16,350
R3	7,612,487	3,050,323	1,828,389	0	12,491,199	9,449,522	185,285	15,440
R4	6,029,925	3,260,352	2,275,636	0	11,565,913	9,149,445	179,401	14,950
R5	7,233,356	3,965,610	1,990,129	0	13,189,095	9,010,387	176,674	14,723



令和5年度 わくわくワーク大塚 事業報告

1. 職員構成

総数 23名

(内非常勤)

施設長 1	サービス管理責任者 1	生活支援員 15 (9) (1名看護師兼務)	事務員 1
看護師 1 (1) (生活支援員兼務)	調理員 2 (2)	運転手 1 (1) 添乗員 1 (1)	嘱託医 1 (1)

2. 利用者の状況

(1) 月別利用契約者状況

月 市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲郡市	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
豊川市	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
安城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設楽町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	47	47	47	47	47	47	46	46	46	46	46	46

(2) 各種関係手帳所持状況

() は重複者

種別 性別	療育手帳				身体障害者手帳						計
	A級	B級	C級	なし	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男	23	3	0	0				(2)			26
女	12	7	0	1	(1)		1(2)				20
計	35	10	0	1	(1)		1(2)	(1)			46

(3) 障害支援区分

項目 性別	6	5	4	3	2	計
男	3	1 3	8	2	0	2 6
女	4	3	8	5	0	2 0
計	7	1 6	1 6	7	0	4 6

(4) 日常生活自立状況

領域 状況	自立		一部介助		全介助		計
	男	女	男	女	男	女	
食 事	6	5	1 9	1 3	1	2	4 6
歯磨き・洗面	1	3	1 7	1 2	8	5	4 6
排 泄	1 0	5	1 4	1 3	2	2	4 6
着 脱 衣	5	3	2 0	1 5	1	2	4 6
掃除 (担当箇所)	2	1	1 1	1 4	1 3	5	4 6

(5) 月別利用者数状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定 員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
月平均 利用者数	43.4	42.9	40.5	43.5	42.7	43.0	41.2	40.0	39.6	38.7	42.0	42.1

平均月利用者数：41.6

3. 日中活動支援

(1) 自主製品科作業実績

①はじめに

今年度は、利用者21名、職員7名（内非常勤職員4名）という体制で引き続きスタートした。作業内容は、菌床しいたけ栽培、委託作業、縫製作業を継続している。

それぞれの部門でより一層の作業の充実を目指して取り組んだ。また利用者一人一人の作業能力、個々に適応した作業を考え、委託作業科と協調して、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

委託作業は、W作業は受注の減少、縫製作業は販売スペースの縮小により売り上げが低迷した。またしいたけ栽培についても収穫量の減少により売り上げが昨年度を下回った。

②縫製部門

本年度は常設店での売り上げが一番大きかったテーマパーク内の販売先Vがリニューアルオープンし、販売スペースがかなり縮小されたことで売り上げは大幅に減少した1年であった。

昨年度より蒲郡市役所子ども子育て支援課の依頼により、市立保育園の規定幼児用の給食セットを福祉課に置かれた常設店で販売している。また新型コロナウイルスが5類になったことでバザーも開催されるようになった。

商品別ではマスクの売り上げは大幅に減少したが、スツールについては福祉課での販売が伸びたため昨年度と同程度販売できている。2日に1個以上は売れていた状況である。

各常設店販売別では、福祉課での販売が44%、テーマパーク内の販売先Vが22%、竹島園地内の販売先Tが5%、個人販売が14%、バザー他が15%となった。

実績において、今年度は28万円と昨年度を大きく下回る売り上げとなった。

③委託作業

今年度は(株)Wより小学校教材のフェルト裁断作業を請け負い12年目、フェルト(小)の裁断作業を行ってきた。

実績については、委託作業主が親企業より請け負った計画的な受注に沿った数量の実績であり、昨年度より8万円減となった。

その他の作業として委託作業科で受注している自動車部品の組付けや建築部材の作業等の仕事を協力して利用者に提供することで、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することができた。

④菌床しいたけ栽培

しいたけ班としては利用者7名、職員4名を配置し、作業に取り組んだ。菌床しいたけの栽培は15年目を迎え、令和5年度も菌床4000床を購入し、しいたけの搬入後は毎日の温度、湿度管理を欠かさずに作業として取り組んだ。

販売経路は、これまでの蒲郡市内のJA、豊川市内のスーパーK、蒲郡のテーマパーク内の販売先V、生活協同組合と近隣保育園や老人ホームなどを中心に販売することができ乾燥しいたけについても併せて販売を続けた。昨年度同様に保育園、児童館、老人ホーム市内の福祉施設等での販売を積極的に行った。

新型コロナウイルスが5類になったことにより東三河地域のバザーが多く開催され、バザーがあれば出向き、販売させていただいた。しいたけの品質といった点でも、「品質の良いしいたけ」「肉厚で美味しい」と好評をいただくことができた。乾燥しいたけは、パッケージを愛知工科大学の学生にデザインして頂き、「以前より明るくなった」「商品のことがわかりやすくなった」とこちらも好評をいただくことができた。

菌床については、昨年度同様に三重県から仕入れた。品種も同様で、引き続き搬入回数を2回に減らすことで労力の軽減と経費削減を図っている。今年度は暖冬により発生時期が遅れた。収穫量100kgを超える集中発生がなく、無駄にしいたけを市場に出荷したり廃棄することはなかった。雑菌混入を避けるため5月GW明けに菌床搬入をした。今年もしいたけ農家の助言を活かし換気や散水などで温室・菌床の温度調整をした。高温障害に

陥ることはほぼなかった。10月に入ると順調に発生が始まったと思われたが、11月上旬は暖かい気候のためか、しいたけの芽が出なくなってしまった。11月下旬には再度発生が始まり、3月過ぎまで収穫できた。総収穫量としては約3,800kgと昨年度より約500kg減り実績も50万円程減った。

（２）委託作業科実績

①はじめに

委託作業科の体制になり12年目を迎え、利用者25名、職員9名（内非常勤職員5名）という体制で企業の下請け作業を中心に取り組んだ。作業内容は、委託作業全般・製パン・製菓作業ということで、委託作業は6社の業者から作業を受注し行っている。それぞれの業者からの作業の受注状況と利用者の作業能力に応じて、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

②委託作業

6社の業者から自動車関連組み付け作業、部品のセット、プラスチック部品の組み付け作業、建築用部品の作成作業、ダンボールの緩衝材の組み立て、バーナー部品の加工等を行った。昨年度は新型コロナウイルスが収束に向かう中で、世間も日常がコロナ前に戻っていくうえで、受注量が増えていた。今年度は日常に戻り不足していた部品が落ち着き、受注量は減少している。作業が無くなるわけではなく、安定した作業量、作業種の確保をすることが出来た。作業内容も簡単なものから高度なものまで様々あり、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することができた。

一方で、住宅関連の業者についてもマンション需要とともに作業量も増加してきているが、今年度落ち着きだし昨年度よりは受注量は減少している。受注は期待できるため、安定した作業量を確保できるようにしていく。今後も生産性を高めていくのと同時に、質の向上にも努めていくことで受注量の増加、新作業の獲得を目指し取り組んでいる。

③製菓部門

令和5年度は、利用者6名、職員2名で製菓・製パン作業に取り組んだ。また、バザーや児童館での販売要員として他にも利用者2名を加え活動した。

法人内の食事提供を中心に、久しぶりに開催された3施設合同レクや福祉まつりにも多くのパンを提供することが出来た。また、大型ショッピングセンターでのバザー出品も大きな売り上げを得る結果となった。

今年度は、地域公益事業の一環として小学生を対象とした児童クラブへのおやつ提供や、未就園児親子を対象とした児童館での販売、近隣の老人ホームへの販売等、地域の皆さんにわくわくワーク大塚のパンを味わってもらうことができ、大変嬉しく思っている。

一方、当施設での保護者会開催が減ったため、保護者の皆様に販売する機会が減ってしまった事は残念である。

物価高騰による原材料等の値上がりについては、8年ぶりに一般販売価格をあげる事で対応した。

4. 日常生活支援・健康管理支援

(1) 日常生活支援

《手洗い》

基本的な手洗い支援として、コロナ感染症が5類になった以降も引き続きお茶休憩時や昼食の手洗い時には職員がついて支援をしている。

支援手順として、「水で洗い流す」⇒「きちんと石鹸液で汚れを落とす」⇒「水で洗い流す」⇒「ペーパータオルまたは、綺麗なハンカチ等で拭き取る」あるいは「ジェットタオルで乾かす」⇒「消毒液を手指に擦り込む」という基本的な手洗いの一連の流れがスムーズに行う事が出来るよう支援した。毎日の繰り返しが定着につながっている。

また、感染症予防の一環として、取り入れたアルコール消毒も引き続き行った。

《歯磨き・洗面》

昼食後には利用者自らが食堂洗面台で歯磨きを行い、その後当番職員が上手に磨くことが出来ない箇所を磨き直し、口の周りの清潔を保持している。一日一回の支援ではあるが、家庭でも習慣づくことを目指して支援している。また年一回の歯科健診を実施している。

今後も継続する事で少しでも虫歯・歯肉炎予防に役立てたいと考えている。

《体力作り》

毎日、午前の時間を使って体力活動を行った。また、1月より、午後の時間もできる限り介護棟を開けて少しでも体を動かせるように支援した。

介護棟内では、利用者や保護者の要望・目標を取り入れ、それぞれに合った器具を使い支援した。ルームランナーや、フィットネスバイク等は速度や傾斜、時間等を変えそれぞれの体力に合わせたかたちで行った。足温器やイージーウォーク（足首屈伸器具）、エルダックス（上半身運動器具）や肩マッサージ器は、主に筋力維持や血行促進を目的とされる方に行った。また、色々なサイズのゴムボールを使う事で、機能維持や体幹強化も進めた。

屋外活動として、好天の日には散歩にも出掛けている。短距離（約1km）、中距離（約2km）、長距離（約3km）のコースを設け、それぞれの体力に合ったコースで参加してもらい、帰所後も腹筋やレッグマシーンに取り組み、体力活動に対する意欲がうかがわれた。猛暑日の際には危険なため、散歩は中止とした。

雨天時には、コロナ感染症で中止にしていたリズム体操も復活し、楽しく参加できた。平成23年から体力向上や減量を目的として開始し、現在は体力・体重・健康維持にシフトチェンジされつつあるが、身体を動かす楽しさを感じたり、気分転換を図ったりする事に大いに役立っているよう感じる。

今後も安全と安心を最重視し、体力維持等につながるような活動をしていきたいと思っている。

(2) 健康管理支援

定期健診、年2回実施

身体測定、年3回実施

歯科検診、年1回実施
健康チェック、毎朝、検温実施
給食、健康維持及び生活習慣病防止の献立作成
嗜好調査を3月に実施

5. 環境整備・余暇活動

(1) 環境整備

環境整備活動、毎月実施
清掃奉仕、年1回実施、10月
衛生対策、玄関、食堂、トイレに消毒液設置

(2) 余暇活動

土曜タイム、自治会活動、科別リフレッシュタイムの実施

6. 日中一時支援事業(別紙1)

7. 苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化

(1) 苦情解決

苦情としての受付はなかった。
意見要望等が言いやすい環境作りに努め、速やかに対応できるよう職員会議等で職員に周知した。

(2) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待事案の受付はなかった。
毎月、サービス提供点検を実施し職員会議で検討すると共に、虐待防止の関係する研修に参加し虐待防止に努めた。
身体拘束については、安易に「緊急やむを得ない」ものとして身体拘束をおこなうことのないように努めた。

8. 地域における公益的な取組

社会福祉法第24条2項に基づく地域社会における公益的な活動を推進することで社会福祉法人の役割を明確にし、地域の福祉ニーズに応えるため、地域支え合い座談会の参加や地元児童クラブへのお菓子提供等の活動を通し、地域に根ざした信頼される施設づくりに努める。

9. 令和5年度 作業実績(別紙2)

10. 令和5年度 行事实績(別紙3)

(別紙1)

日 中 一 時 支 援 事 業 報 告

1. はじめに

18年10月からスタートした市町村地域生活支援事業の日中一時支援事業〔蒲郡市・豊川市〕は17年目を迎えた。

2. 利用状況

契約人数：0名 延べ利用人数：0名 日中一時の利用はなかった。

3. 今後について

今後も地域で生活している障がい者のニーズがあれば、日中活動の場として、作業や体力活動等を通した様々な支援を行っていきたいと考えている。

(別紙2)

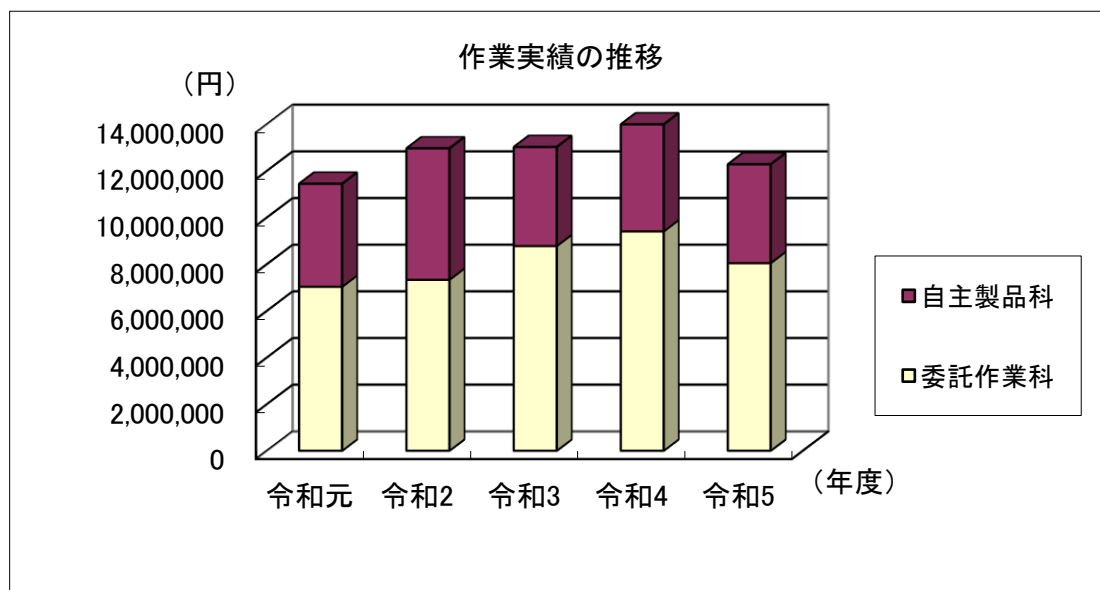
令和5年度作業実績

1. 実 績

(単位:円)

	自主製品科	委託作業科	計	経費	工賃
4	214,021	168,847	382,868	356,020	333,930
5	165,301	585,056	750,357	314,593	333,940
6	110,930	611,375	722,305	1,600,246	658,317
7	69,430	708,150	777,580	297,201	332,650
8	77,235	836,452	913,687	529,146	334,090
9	72,200	528,957	601,157	349,268	333,860
10	78,520	627,660	706,180	306,537	334,290
11	384,838	792,680	1,177,518	385,434	332,810
12	1,019,226	763,489	1,782,715	419,151	750,023
1	698,833	660,187	1,359,020	544,018	283,530
2	664,178	432,428	1,096,606	413,477	283,580
3	541,799	662,955	1,204,754	445,747	425,886
決算見込	139,414	665,278	804,692	913,205	693,560
合計	4,235,925	8,043,514	12,279,439	6,874,043	5,430,466
月平均	352,994	670,293	1,023,287	572,837	452,539

2. 作業実績の推移



◎ 年度別実績

(単位:円)

	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
自主製品科	4,415,805	5,633,791	4,247,212	4,586,917	4,235,925
委託作業科	7,030,454	7,328,708	8,773,131	9,403,520	8,043,514
合 計	11,446,259	12,962,499	13,020,343	13,990,437	12,279,439

(別紙3)

令和5年度行事実績

5 / 15	春の定期健診
26	選択レク（ぎょぎょランド）
6 / 29	歯科健診
30	利用者賞与支給
8 / 5	ミニ縁日（盆踊り・スイカ割り）
8 / 12	ミニ縁日（千本引き・かき氷）
13	利用者夏期休暇（～15）
9 / 29	日帰り旅行（どうする家康館・香りの博物館）
10 / 7	合同レク（パン食い競走他）
16	秋の定期健診
11 / 11	地域交流福祉まつり
12 / 15	利用者賞与支給
	忘年会（テイクアウト・カラオケ・ビンゴ大会）
20	蒲郡市（市長、市議会議長、社会福祉協議会長）年末訪問
21	クリスマス会（イオン蒲郡店訪問）
28	餅つき・仕事納め
29	利用者冬期休暇（～1 / 3）
1 / 5	初詣
8	成人を祝う会
2 / 2	節分・豆まき
9	科別レク（テイクアウトランチ）
3 / 29	花見（蒲郡中央公園・東三河ふるさと公園他）
29	利用者賞与支給

※ 毎月1回・・・工賃支給、誕生会、環境整備デー
高血圧者の血圧測定（毎日）

※ 偶数月・・・防災訓練

※ 4ヶ月毎・・・身体測定

令和 5 年度 社会福祉法人くすの木福祉事業会 共同生活援助事業所
(ひめはる・かるみあ・はちまん) 事業報告

1. 概要

令和 5 年度の入居者の状況は、利用定員は 50 名、利用者数は 48 名でスタートし、利用者数は昨年度より 1 名増え 49 名であった。令和 5 年 7 月「はちまんⅡ」に男性 1 名が入居し、「はちまんⅠ」の女性利用者 1 名が希望により「あざれあ」に移動した。しかし、10 月に怪我のため入院、2 月に退院後は、夜間支援体制が整った「はちまんⅠ」へ本人同意の上、戻っている。また、利用者の怪我や病気で入院されたり、不調などにより長期間にわたり利用ができなかったりする時期もあった。

夜間支援体制の強化については、夜勤者の配置のない「あざれあ」に人員を配置できるか、「ひめはる」では夜勤者の増員ができるかを検討したが、世話人の確保ができず実施できていない。前述のとおり夜間支援体制が各ホームで必要となっていることもあり、引き続き、人材確保が重要な課題である。

感染症予防対策としては、定時検温・手洗い・消毒・うがい等を実施し感染予防に努めた。新型コロナウイルス、インフルエンザ共に若干名の罹患者は出たものの、拡大することなくコロナ前の日常生活を取り戻しつつある。

行事としては、11 月に外出による食事会、12 月はクリスマス会、2 月には 4 年ぶりに日帰り旅行を実施することができた。全ホームの参加で観光バス 2 台を手配して南知多方面へ、いちご狩り、碧南水族館へ出かけ、利用者同士、保護者同士、交流をもつ機会にもなり旅行を楽しんでいる様子が窺えた。

その他の取り組みとして、「あざれあ」では利用者主体で休日の昼食作りを始めている。献立から買い出し、調理まで利用者同士で相談しながら進めている。他のホームでも外出支援として、買い物や外出などを体験することで週末の外出を期待する姿が見られるようになった。また、1 名の方は就労継続支援事業所、相談支援専門員と連携して一般就労につながっている。

2. 入居者の状況(R6.3.31 現在)

事業所名	ホーム名 (住居名)	開設年度	住 所	定員	男性	女性	備考
ひめはる	ひめはる	H23	大塚町後広畑 25 番地 4	10	10	0	
	あざれあ	H19	大塚町野添 105 番地 1	5	0	4	
	ふれんず	H30	大塚町後広畑 25 番地 10	5	5	0	
かるみあ	さつき荘	H 8	大塚町上中島 32 番地 2	5	5	0	
	かるみあ (2 ユニット)	H25	大塚町後広畑 25 番地 4	5	0	5	かるみあⅠ
				5	5	0	かるみあⅡ
	あいりす	H30	御津町御馬野添 149 番地	5	0	5	
はちまん	はちまん (2 ユニット)	H31	大塚町八幡 1 番地 1	5	0	5	はちまんⅠ
				5	5	0	はちまんⅡ
			総 数	50	30	19	

令和5年度 障害者サポートセンターすてっぷ事業報告

1. 概要

令和5年度は計画の更新が多く、令和4年度に比べると倍近い件数になっていたため、大変忙しい1年であった。

令和5年度も蒲郡市自立支援協議会の事例検討部会の運営に携わったり、相談支援専門員の初任者研修の演習講師を担ったり、基幹相談支援センター会議で実施するグループスーパービジョンの進行役を行うなど相談支援本体の以外の業務が目立っている。特に人材育成に関することへのかかわりが増加している。

引き続き、令和5年度も蒲郡市委託相談支援事業の業務も行った。

2. 相談支援の状況

【相談受付数】

	実人員	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
人数	120	8	104	4	13	0

【支援方法】

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	その他	合計
相談数	416	31	14	413	26	429	1329

【支援内容】

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康医療	不安解消 情緒安定	保育教育	家庭関係 人間関係	家計 経済
件数	839	4	484	262	183	332	117
	生活技術	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合計	
件数	241	57	346	7	74	2946	

【サービス等利用計画およびモニタリング報告書作成数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画数	5	1	3	3	7	1	6	9	11
モニタリング数	18	24	30	19	22	24	14	13	18
	1月	2月	3月	合計					
計画数	7	11	9	73					
モニタリング数	12	16	10	220					